

離任式が行われました…☹️💧

春は出会いの季節でもあり、別れの季節でもあります。始業式の日にはたくさんのお出迎えがありました。今日は2年間お世話になった先生方の離任式がありました。

吉識先生（英語・支援・卓球部）

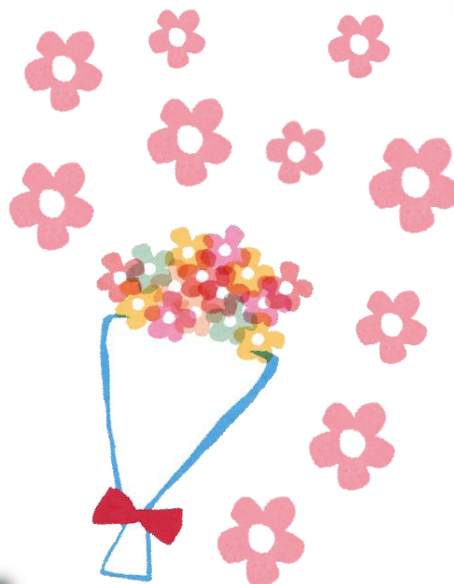
支援として66期生に関わってきました。教室に入っていても温かく受け入れてくれました。66期は2年間で大きく成長したと思います。学年があがってやる気になっている人が多いと思います。そのやる気を続けることが大切です。そして、周りの子に声をかけてあげてほしいです。それが五中の良いところです。声をかけられた人も気持ちよくその声かけを受けられる人になってほしいです。3年生はしんどいことが待っているけど、集団の力でがんばって下さい。



大久保先生

（理科・支援・バドミントン部）

66期生旧1年4組をもたせてもらっているいろいろあったけど楽しかったです。五中の生徒は温かく優しいです。これから先輩としてやる時はやる、楽しむ時は楽しむというようにメリハリをつけて学校生活を送って下さい。



嶋田先生（生徒指導・サッカー部）

毎日校内のゴミを拾っていました。先生は汚い学校が嫌いでゴミ拾いをしていました。新2・3年生は校舎をきれいに使用してくれました。また五中生にいろいろな場面で支えられた10年でした。「change（変化）」一文字変えると「chance（チャンス）」になります。一文字変えることに苦しむかもしれないけど、自分自身で努力したり、友達と協力したりして頑張してほしい。

菅谷先生（英語・吹奏楽部・テニス部）

吹奏楽部とテニス部の人と関わりがありました。きっと今多くの方が不安な気持ちがあると思います。みんなの周りにはいる五中の先生は温かい方ばかりです。もし、何か困ったこととか、言うのが恥ずかしいことでもいい。小さいことでもいいので声をかけてください。必ず力になってくれます。五中という温かいチームを先生方と作ってほしいと思います。



岡先生

（用務員・スクールサポーター）

用務員という仕事はみんなの学校生活環境を整える、学校の縁の下のカモチです。木や花を大切にしてほしいです。掃除道具なども大事に使ってほしい。これから楽しい学校生活を送ってください。



裏面に藤代先生の手紙があります！

第1回 学年集会がありました



3年生に関わる先生の自己紹介のあと、竹内先生から班づくり（仲間づくり）について、川中先生から生活について話がありました。

竹内先生の話

班づくり、仲間づくりに向けて養ってほしい力が2つあります。1つは「見える力」です。「見える力」というのはパラメータ（尺度、それぞれの強み、好きなこと、特技など）を仲間から感じ取ることをいいます。さらに、その仲間に合ったできること理解し、足りない部分を補い合ったりすることも含まれます。普段は自分に合うパラメータの仲間と一緒にいることが多いと思いますが、班活動は休み時間とは違って、自分と違うパラメータの仲間と活動していきます。そんな仲間のことも自分から知ってほしいです。2つ目は「見えない力」です。すなわち“心”を言います。心を養うのには大変な時間がかかるし、とても難しいことです。その中でも特に“感謝”を大切にしてほしいと思います。



川中先生の話

みんなは初めてのことに弱いと思います。初めてのことに手を差し出す、自分から考えて行動するということが苦手だと感じます。でも卒業したら初めてのことが多いし、そこから大学や、社会に出たら初めてのことばかりです。例えば誰かが「～やりましょう」と提案した時に「えー！！」から始まったらおもしろくないですね。「自分がやる、行動して見せる！！」と全員が自分でスイッチを入れるようにしてほしいです。

3年生のスタートは良かったと思うし、顔も変わったと思います。2年生の3学期の終わりに「スタートはぶっちぎってほしい」と話をしました。ほとんどがぶっちぎってスタート切れています。もし、遅れていても今ならまだ間に合います。まだ背中は見えているから追いつくことができます。今しかできないし、今やらないといけないことはしっかりやっていきましょう。

